下水道部のお仕事

下水道が使えなくなるなんて想像しにくいけど・・・水洗トイレが使えない、雨が降れば、まちは水浸し（悲）。
そんな下水道を守り、まちの発展を目指し、下水道部の職員は次のような仕事をしています。

経営・計画

公共下水道事業の企画など

下水道事業の経営や方向性の検討
浸水対策計画、老朽化対策計画など
様々な計画を立てています。

設計・施工管理

公共下水道施設の工事など

シールド・推進・開削工法などの
下水道管工事や設備等について
設計、積算、工事の監理などを
行っています。

維持管理

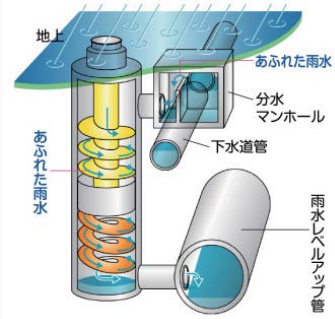
公共下水道の維持管理など

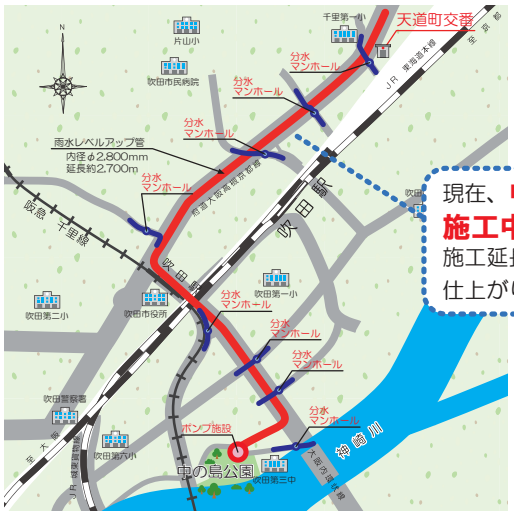
下水道施設の維持管理や
下水道に関する許可申請の
協議などを行っています。

いま重点的に取組んでいるお仕事

豪雨などによる浸水被害を軽減

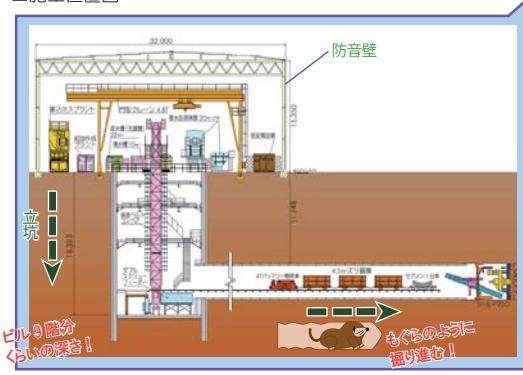
吹田市では、常襲的な浸水被害からまちを守るため、10 年確率降雨（約 50mm/h）に対応する新たな増強施設を建設しています。【雨水レベルアップ整備工事】





現在、**中の島・片山工区**を**施工中！**（平成 35 年度末完成予定）
施工延長約 2,700m
仕上がり内径φ2,800mm

▲施工位置図



上の写真は、実際に中の島・片山工区で使用している、シールドマシンという地中を掘削する機械です。まず縦方向に発進立坑という穴をつくった後、横方向にシールドマシンで穴を掘り、トンネルをつくっていく工事です。このトンネルに地上にあふれそうな雨水を取り込みます。

下水道施設の老朽化対策

一般的に下水管の標準耐用年数は 50 年とされています。吹田市の下水道は昭和 30 年代後半の千里ニュータウンの開発とともに普及してきたこともあり、市内に布設されている管渠約 832km うち、40 年以上経過している管渠は全体の 40% を占めています。

下水道管の老朽化が原因で道路陥没が起きることも！

一度、壊れると元に戻すのに、多くの時間と、多額の費用が掛かります。壊れる前に、日々の点検調査を行い、適切に管理し、改築更新することで、トータルコストを抑えることができます。

腐食が原因で下水道管に大きな穴が！

▲改築更新工事

◀日々の点検